

～We live to be happy by sharing things and feelings.～

そよかぜ

人権だより No.2

三重県立飯野高等学校
全日制 2020. 6. 16 発行



◆◇「新型コロナウイルス」を考える

学校が再開され2週間が経ちました。生徒の皆さんには「新型コロナウイルスに関するアンケート」を通じて、自分や他者を守ることの大切さについて考えてもらいました。「新型コロナウイルス」に関係する「差別」や「嫌がらせ」について見聞きし、大きな不安が日常になだれこんできた3か月だったことでしょう。今回は、前向きに過ごせるようなメッセージやエピソードに触れてもらうことで、お互いが少しでも安心して生活でき、励まし合えたら良いなと思っています。飯野高校にいる仲間が、あなた自身が、お互いを励ます温かなパワーをそれぞれ持っているのだと感じてもらえたら幸いです。

《社会で起きている「差別」や「嫌がらせ」について感じていること》

どうして? なんで?

そんなことをしても何の解決にもならない。みんなで協力できたらうれしい。コロナ無くなってくれないかな。かなしい。／同じ人間として恥ずかしい。心配してほしい。感染した人が一番怖かったはず。／そんなことをしても何も解決しないのに、なんでそんなことをするんだろうな。／医療従事者に対して嫌がらせをする人は、本当に許せない。皆のために最前線で戦っているのに…。

悲しい、ショック、恐ろしい…

すごく悲しい状況です。みんなが困っているの、お互いにサポート、協力したり、自分を愛するように他人を愛することが必要です。／私はこれらのことについて悲しいな、さみしいなと思った。他に憤りをもつてすごく感じました。こんなの不正義すぎます。／「差別」や「嫌がらせ」を正しいと思ってやっている人がいてとても悲しい。もし自分が同じことをされたら、と客観的に自分の行動を見直してほしい。／驚いたことは三重県でも起きているということ。知り合いからも差別的なことがあると聞いたので、非常に重く受けとめている。／自分には見えていないところで、実は近くで起こっているかもしれないと思うと、恐ろしいことだと感じる。

ダメ、やめてほしい…

絶対にあってはならないこと。コロナに感染することへの恐怖心は分からなくもないが、だからといって他人を傷つけていいという訳ではない。／一番不安に思っているのは感染してしまった人たちの、もっとも追いつめるのはおかしい。同じ人間として情けない。／好きでコロナにかかっているわけじゃないから、差別されるのはおかしい。医療に関わっている人は、人を救うために頑張っている人だから、悪く言う権利は、他の人には無いと思う。／何もできない私たちのために頑張ってくれている人を避けたり、変な目で見るとはおかしすぎると感じました。

コロナに限らず…

病気はいつかなくなるけど、心の傷は残る。／自分と何か違うことで差別することに対して、私は、人それぞれ違うところがあるから良いのになって思います。差別や嫌がらせを受けている人がもし自分だったら…と考えると辛く、苦しいです。／差別や嫌がらせは“偏見”から起きることが多いので、少しでも“偏見”

をなくすべき。

不安な中でも…

身近な人で感染したと聞いたら、不安でいっぱいになると思います。感染してしまった人は大丈夫なのか、そもそも自分が感染しないとは限らない…。きっと多くの人が同じだと思います。しかしそれを人々が協力して乗り越えることができれば良いなと思います。

《それらをなくすために、私たちができること》

感謝、気づかい

感染してしまった人たちを責めずに「早く治ってほしい」と気づかう。／最前線に立っている人に、ありがとう。／相手をいたわって、感謝の言葉で述べる。できる限りの手助けをする。／差別をしない。そのために相手の良いところを見つけたら、相手に寄り添ったりする。／助けを求めている人たちを救おう。

流れを断ち切る、乗らない

SNSに人を傷つけることを書かない、言わない。言葉は凶器にもなるから考えて行動する。／ネットの情報は安易に信用しない。／よく考える。本当にそうなのか。／話に乗らない。／流れを断ち切る。／デマを流さない、信じない。／差別や嫌がらせを受けている人の相談にのる。味方になってあげる。／もっと知ることが必要だと思う。お互いの状況を理解することが必要だと思う。／コロナになってしまった人を責めない。コロナにかかった本人が一番不安である。

伝える、発信する、考える

差別や嫌がらせをすることはおかしいと、ちゃんと言える社会を作る。／今の状況をちゃんと見て、人のことを考えたり、差別しないように伝えること!／私たちは同じ「地球人」である。仲間である、家族である。私たちの兄弟が苦しんでいるなら、手を差し伸べようじゃないか。誰かのためにがんばっている人がいるなら何かその人のためにできるようなことを考えてみよう。

《休校期間中に聞いた「心の温まるエピソード」》

優しさのリレー

おばがこどもの日に暇をつぶせるものを送ってくれました。おばにも感謝していますが、これを配達してくれた方々にも感謝しなければならぬなと思いました。／知り合いの人が手作りマスクを作ってくれたり、色々生活の手助けしてくれた。こんな騒動が起きている最中でも、協力し合える人たちが周りにいて良かった。／女子中学生がたくさん手作りマスクを高齢者施設に寄付した。／アメリカで、自宅をライトアップしたり看板を飾ったりして、医療従事者の方などを励ましているのを見て、素敵だと思った。／ブラジルで、いろんな人たちが食べ物や飲み物を買って、貧しい人たちに配ったりしました。／トイレットペーパーやベビー用品などが少なくなっている時に、一人の男性が自宅にある分を庭に出して、困っている人たちへ「自由に取って行って」と書き、置いた。困っている人への優しさ…。／(芸能人やアイドル、スポーツ選手、音楽業界、声優さん等の活動について)みんなの不安が少しでもなくなるようにと行動に移してすごかった。／エンタメ業界はこの期間中、私たちのために尽力してくれていたと思います。芸人さんのライブ配信やリモート収録等、精一杯楽しませてくれて本当にありがたかったです。／いろんな物を配達している人に応援のメッセージとマスクをあげていたのをニュースで見て、すごく心が温まりました。／配達員に「ありがとうご



